

学生のための講演会

共生社会をデザインする

—障害学・人権・テクノロジーから考える地域の未来—

対象：政策デザイン学科の学生、および対象科目の履修生

日時：2026年7月16日(木)15:00~16:30

場所：土樋キャンパス 8号館ホール（8号館5階）

いしかわ じゅん

講師 **石川 准 先生** 社会学者・静岡県立大学名誉教授



1956年、富山県生まれ。16歳のとき網膜剥離により失明。全盲で初めて東京大学に点字入試で合格する。東京大学文学部卒業後、同大学大学院社会学研究科修士課程を修了し、博士課程単位取得退学。博士(社会学)。1989年より静岡県立大学国際関係学部にて教育・研究に携わり、1997年から教授、のち名誉教授。専門は社会学・障害学で、障害を社会の問題として捉える視点から研究と実践を続けてきた。また、視覚障害者の生活を支える支援機器の研究・開発にも取り組み、静岡県立大学発ベンチャー企業である有限会社エクストラの代表取締役を務める。2012年から約10年間、内閣府障害者政策委員会委員長として日本の障害者政策の検討と制度づくりを主導。2017年から2020年までは国連障害者権利委員会委員(2019~2020年は副委員長)として、障害者権利条約の実施状況を国際的な立場から審査・提言してきた。研究・政策・当事者の視点を行き来しながら、障害者の人権保障と社会参加の実現に取り組んでいる。